



CMIT

The Creator Market on Internet Technology

WHITEPAPER ver 3.0

INDEX

概要	P.02
日本発祥のエンタテインメントを活性化するブロックチェーンを活用した経済圏の構築	P.03
コンテンツ×テクノロジー新時代のコミュニティ参加型ビジネスモデル	P.04
ウエェイ学園とは	P.05
ビジネスを加速する二次創作マーケット	P.06
既存のビジネスモデルを一新 DiFi×NFTの分散型市場構築	P.07
ファントークン「WEI」の発行、分散スキーム	P.08
「CMITCOIN」の役割とパーンについて	P.09
「CMITCOIN」トークン概要	P.10
ロードマップ	P.11
運営会社について	P.12
免責事項	P.13



概要

Overview

2021年に入り、ブロックチェーンというテクノロジーは実用という新たなフェーズに突入したと言えます。地球上に張り巡らされたネット上でP2Pを利用し容易に、かつ安価に個人で価値の保持、移動が行えるという画期的な技術は暗号通貨という法定通貨に変わる貨幣としての活用にとどまらず、DiFiやNFTなどというより具体的なソリューションにより技術者以外のユーザーにも徐々に認知されはじめました。これから数年でブロックチェーンということ意識することなく幅広いユーザーがそのサービスの恩恵を受けることになるでしょう。

CMITCOINはゲーム・コミック・アニメーション・ボーカロイド・Vtuberなど、日本を発祥とする様々なクリエイティブコンテンツを生み出すファンコミュニティを活性化するために生まれたEthereumトークンです。クリエイターとファンを取り巻く環境全てを直接的に繋ぐエコノミーを構築することで、既存のファンビジネスのスキームから中央集権的な部分を取り除き、コミュニティが直接的に価値を交換したり、特別な体験を得られるような仕組みや土壌を提供することを目的としています。

2018年の仮想通貨バブルやその暴落をきっかけとして、ブロックチェーンの技術開発やその技術を使用したサービスの構築は、そのイメージ低下と、急激に発展した業界に対する規制強化により非常に難しい状況に追い込まれてきました。しかしながら、ブロックチェーンという先進的、かつ確実な技術は水面下で着実に進化し続け、私たちの生活をより豊かにするための基盤技術として成長してきました。2018年にはブロックチェーンはその投機的な側面だけに注目が集まっていたましたが、その真の価値は暗号通貨だけではありません。2020年から2021年にかけて徐々に注目が高まり、ニュースなどでも頻繁に目にするようになってきたNFTというブロックチェーンソリューションを使用して、画像・音楽・動画・トレーディングカード・ゲーム内のアイテムなど代替不可能な様々なコンテンツが生み出されることになるでしょう。

ブロックチェーン上のデジタルコンテンツを所有することが本当の意味で人々の喜びや幸せにつながる時代が目の前にきています。NFTで生み出されるデジタルコンテンツが数年後には当たり前のように、世界中のファン同士で熱狂的にトレードされている未来がもう始まっています。

「テクノロジーの力で新たな価値を創造する。

コンテンツと人をつなげ、あらゆる価値をシームレスに、フラットに世界へ。」

私たちは日本発祥のエンタテインメント領域において、新時代のクリエイターとファンコミュニティを育成、拡大するとともに、ブロックチェーン技術を活用したサービス開発と提供を同時に行っていくことで、これから来る「大クリエイター時代」の幕開けに貢献することを目指します。





日本発祥のエンタテインメントを活性化する ブロックチェーンを活用した経済圏の構築

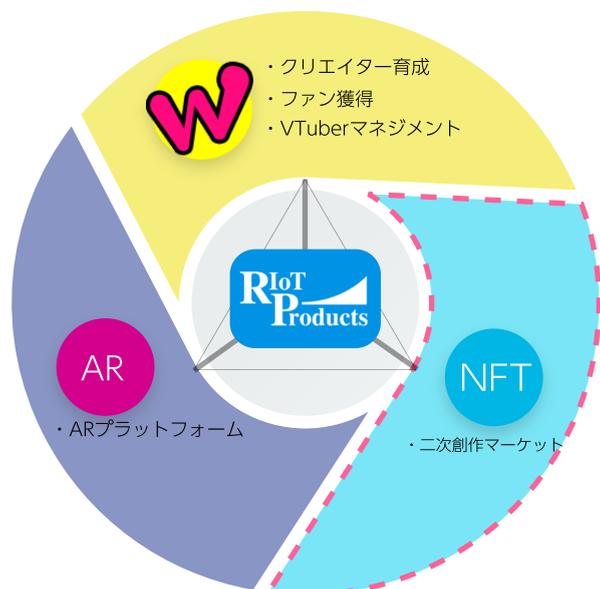
Revitalizing Entertainment that Originated in Japan
Establishing an economy by using blockchain

株式会社RIoT Productsは日本発祥のクリエイティブエンタテインメント分野において、業界を活性化するため『WEIプロジェクト』（We Enjoy Ignorance（無知を楽しもう））を発足させました。

そして、その第一弾として、「学びと成長」をテーマにし、新時代のクリエイターを育成しながらコンテンツを発信していく「ウェェイ学園」プロジェクトを2021年4月からスタートさせました。クリエイティブ分野で才能あふれる未来のクリエイターを発掘しつつ、当社のコンテンツ制作技術、配信技術を掛け合わせることで良質な動画をファンに届けていきます。

自らのチカラでコンテンツを世界に発信できるクリエイターを多く輩出し、可能な限り多くの良質なコンテンツを人々に提供することでファンコミュニティの形成と拡大を目指します。

WEI PROJECT



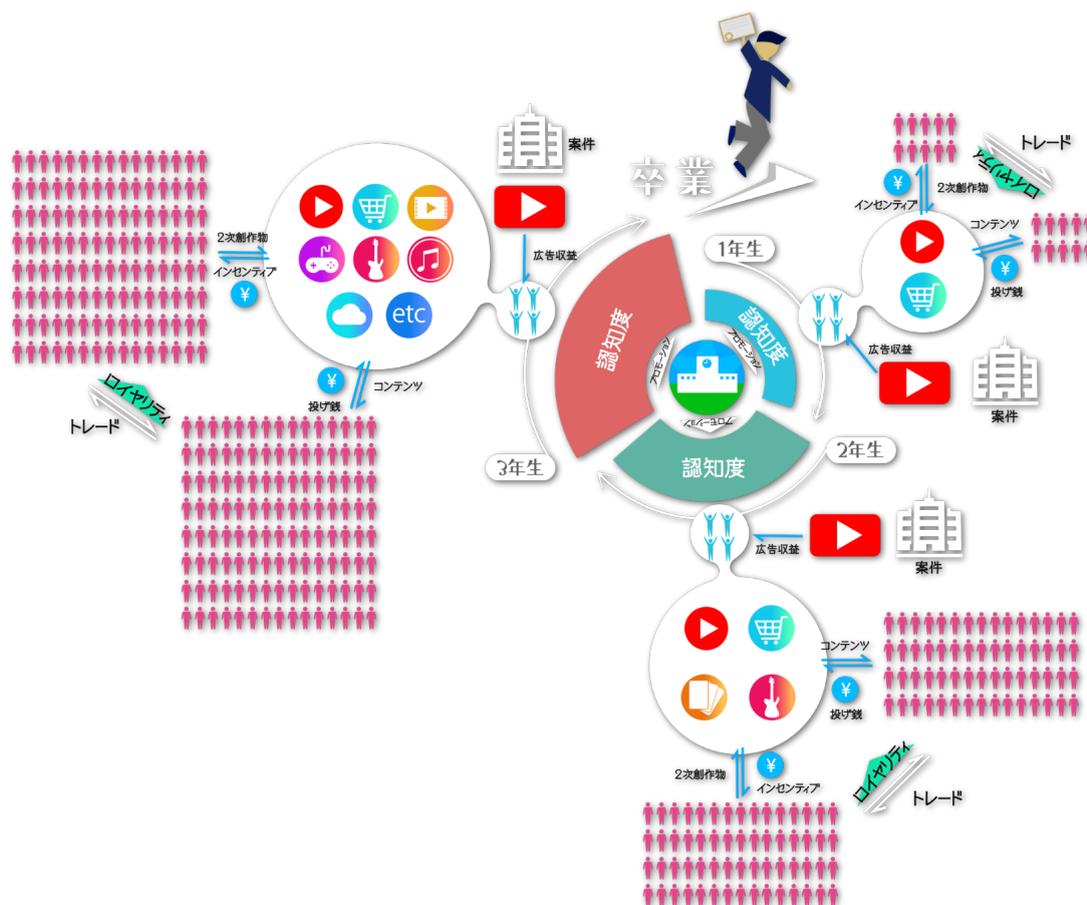
『WEI PROJECT』とは、3つのビジネスプロジェクトの総称で、日本発祥のクリエイティブエンターテインメントを活性化させることを目的としています。主に、ウェェイ学園・二次創作マーケット・VRアプリケーションの3つのプロジェクトを軸に進行していきます。

- ・ウェェイ学園【VTuber育成マネジメントビジネス】**
 クリエイターの育成を通じてクオリティの高いコンテンツを世に送り出すとともに、日本発祥の様々なクリエイティブ分野においてファンコミュニティを形成しつつ、可能性を模索する"学びと成長"をテーマにしたプロジェクト。
- ・二次創作マーケット【eコマースビジネス】**
 クリエイターが創造するコンテンツをファンと共有し、二次創作マーケットをNFTで構築することでフラットに作品のやり取りが行える市場を構築する"市場の平等性"をテーマにしたプロジェクト。
- ・VRアプリケーション【ARプラットフォームビジネス】**
 クリエイターとファンをつなげるARプラットフォームを構築することで、参加型のファンコミュニティ形成し、作品の共有や貸し借り、コミュニティに参加することでファンも多くのメリットを得られる仕組みを提供する"直接的コミュニティ"をテーマにしたプロジェクト。

コンテンツ×テクノロジー 新時代のコミュニティ参加型ビジネスモデル

Contents by Technology
Community participation business model for a new era

クリエイターとファンを同時に生み出す「学びと成長」の場を
ファン参加型のコンテンツ市場として拡大していくビジネスモデル発展させる



3年間という限られた時間で可能な限り多くのクリエイターを輩出します。3年間の間に、コンテンツを発信し続けながら、ファンを獲得しつつ創作活動の幅を広げ徐々に市場を拡大していくビジネスモデルです。クリエイター自身が創作するコンテンツだけではなく、ファンによる二次創作物も市場で取り扱うことでコンテンツの最大化を図ります。その裏付けになるのが、後述するNFT（ノン・ファンジブル・トークン）です。

また、独自のトークンを保有することでファンコミュニティへの参加を可能にします。トークンを保有しているファンは、トークン保有量によってコミュニティの判断に対する投票権や発言権を得られたり、特別なアセットを入手できる、特別な体験ができるなどのメリットと仕組みを構築します。それにより、既存ビジネスモデルにおけるファンコミュニティでは実現できなかったクリエイター、ファン全てが対等にメリットを享受できる健全なコミュニティが実現可能になります。



ウエェイ学園のビジネススキーム

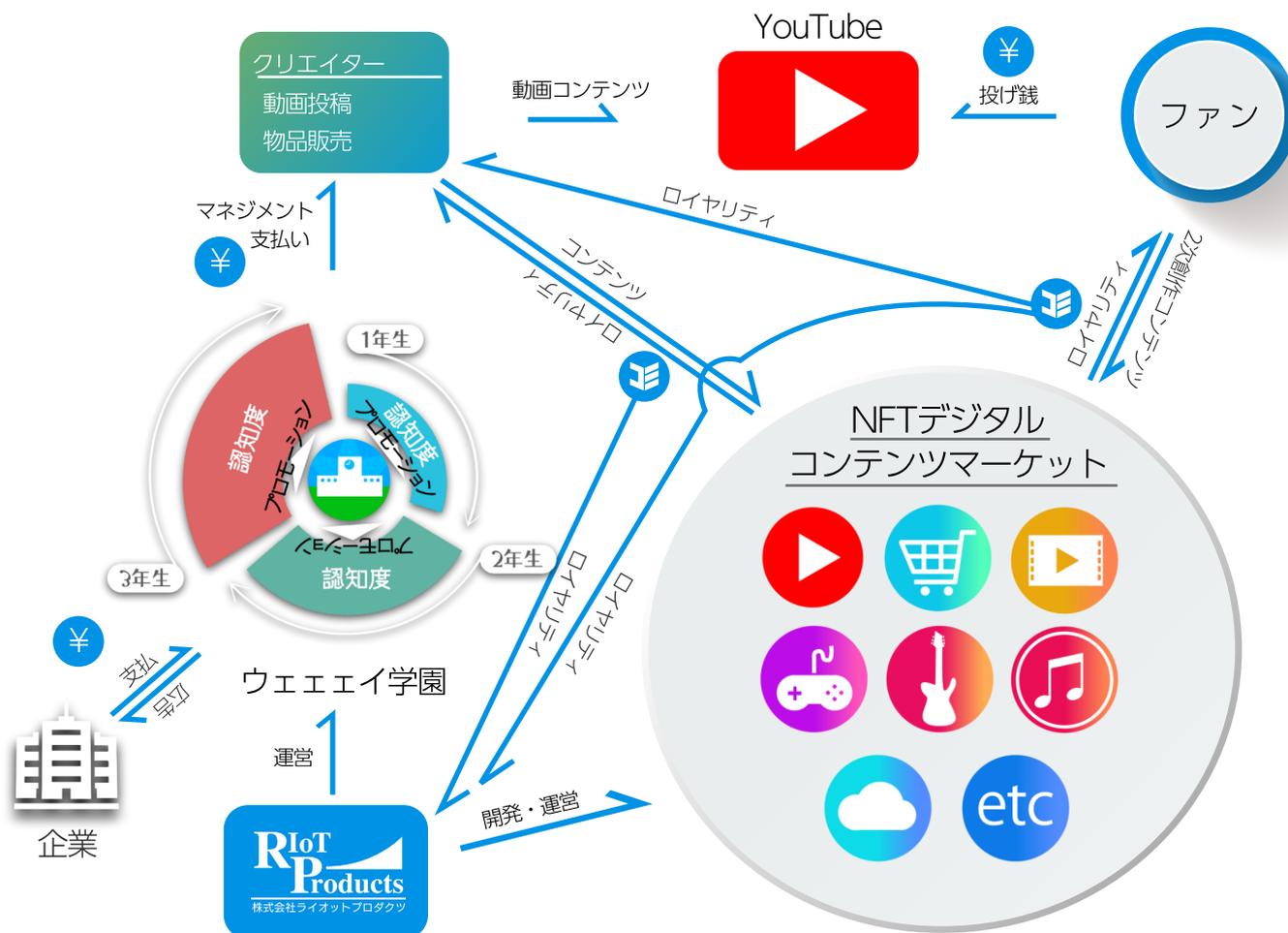
Weeei Academy's Business Scheme

ウエェイ学園とは、「学びと成長」をテーマにした、株式会社RIoT Productsが運営する学園生活風の育成型VTuberプロダクション事業です。同社のWEIプロジェクト「We Enjoy Ignorance（無知を楽しもう）」の頭文字から命名されており、学園という新しいコンセプトのフィールドで、クリエイターがV-Tuberとして3年間の活動を通じて学び成長していくというのが特徴です。

人気のあるクリエイターを継続的にマネジメントするという従来のプロダクション事業とは異なり、3年で一人前のコンテンツメーカーとして、世界に羽ばたける新時代のクリエイターを数多く輩出することを目標としています。

事業の収益構造としては、従来のYouTubeや企業からのスポンサー収益を柱として、eコマースやライブイベント等でマネジメント収益を得る仕組みです。それに加え、構築したファンコミュニティの中で、DiFi、NFT等のブロックチェーン技術に裏付けられた機能を活用して、運営を含め関わる人すべてが中央集権構造のないインセンティブを永続的に受け取ることができるようにすることで、純粋なクリエイティブ活動にクリエイターが専念できる新しい時代のエコノミー構築を目指します。

ウエェイ学園卒業までのビジネススキーム





ビジネスを加速する二次創作マーケット

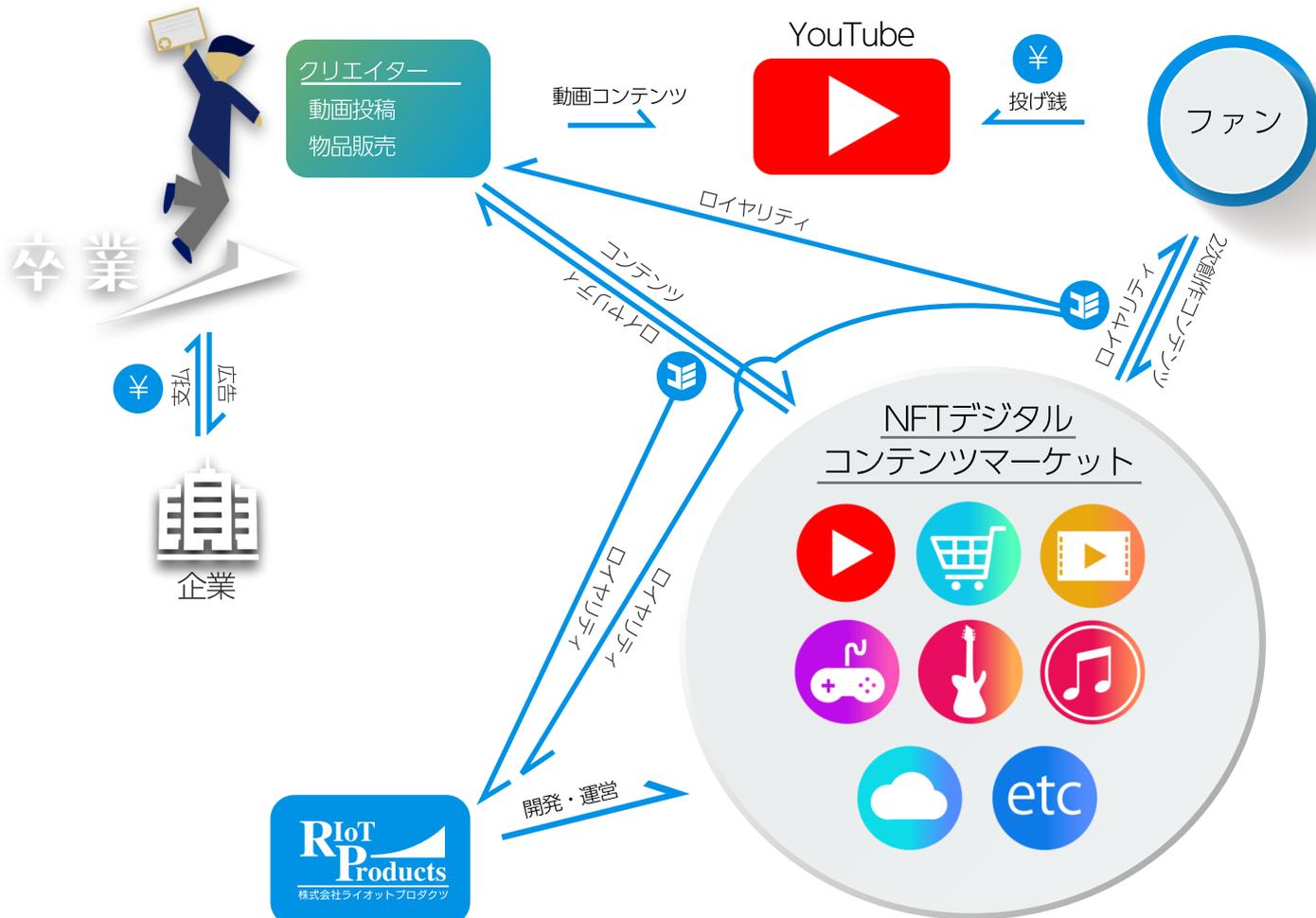
Secondary market to accelerate business

WEIプロジェクトはクリエイターとファン、クリエイターを取り巻くコミュニティに関わる全員が、生み出した成果に対する対価を対等かつ平等に受け取ることができる世界を目指しています。

そのために、ブロックチェーンを活用したNFTコンテンツマーケットを立ち上げ、その中で自由にクリエイターと二次創作者がコンテンツを交換しあえる状況を生み出します。そうすることでコンテンツを制作した本人は半永久的にロイヤリティーを受け取ることが可能になり、出版、楽曲制作などこれまでのビジネススキームでは不可能だったファン同士の転売活動においても自動的に権利者がロイヤリティーを受け取れるようになります。

WEIプロジェクトではブロックチェーンを活用したマーケット構築をビジネスの根幹として掲げ、開発を行います。ブロックチェーン技術に裏付けされた、NFT・スマートコントラクトにより、マーケットに中央管理者が存在しない状況を作り出すことで、人為的エラーや管理事業者がなくなったとしてもインターネット上に適正な価値が、半永久的に存在し続けるという環境を作ることが可能です。また、このようなビジネススキームによってクリエイターのマネジメントビジネスにおいても、中央集権構造を排除することができ、平等な価値交換ができる新しい時代を築いていく挑戦の第一歩だと考えています。

ウェーイ学園卒業後のビジネススキーム

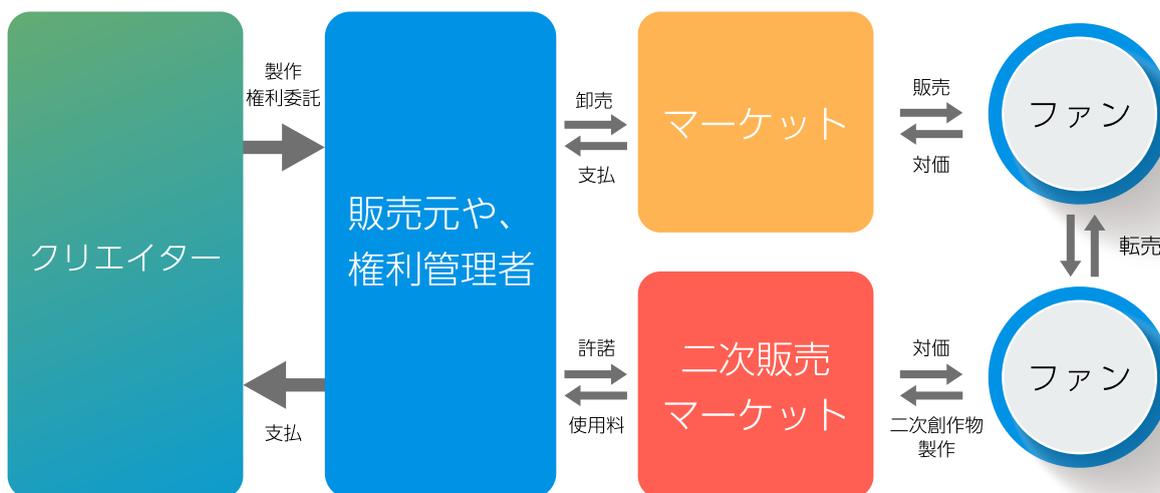


既存のビジネスモデルを一新 DiFi×NFTの分散型市場構築

Renewing the existing business model
DiFi x NFT to generate revenue for the secondary market

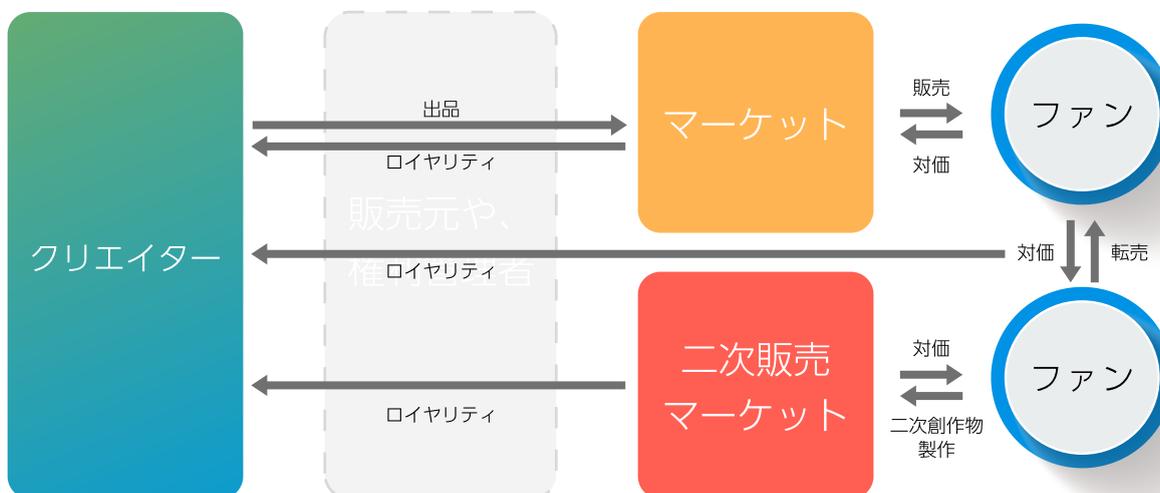
従来のビジネスモデル

マネジメント・出版・楽曲など従来のクリエイター市場では、そのほとんどの場合クリエイターと利用者
の間に、販売元や権利管理者など中間で管理する事業者の存在がありました。人の手が間に入っているた
め顧客管理にかかるコストや人的エラー、また中央集権構造により管理者が存在しなくなった場合は、ク
リエイターにロイヤリティーが支払われる仕組み自体が消滅するなどのリスクが伴います。



新しいビジネスモデル

従来のビジネスモデルに比べ、NFTやスマートコントラクトなどブロックチェーンを利用したサービスで
は、ロイヤリティー配分が予めプログラムに組み込まれ人の手を介さずにインターネット上でピア・ツー
・ピアでやりとりが行われるため中間コスト・管理者がいなくなるリスク・不正などのリスクから開放さ
れます。また、販売するデータもブロックチェーン上に存在しているため海賊版など、他人が複製して偽
物を販売することもできなくなります。





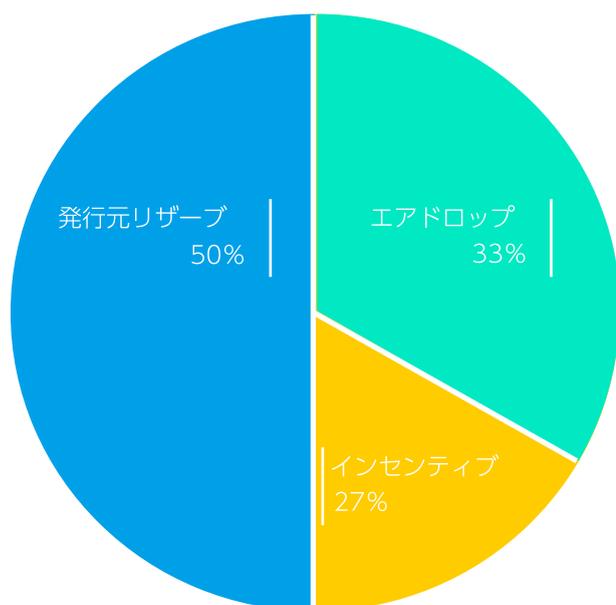
ファントークン「WEI」の発行、分散スキーム

Issuance of the fan token "WEI" and its decentralization scheme

『ウェェイ学園』を始めとして、WEIプロジェクト内で運営されるファンコミュニティに参加するためのファントークン「WEI」の発行を行います。ベースとなるプラットフォームは現時点では未定ですが、コミュニティ内で活用していく上で手数料や機能面において最もユーザビリティに優れた性能、開発環境として優れたプラットフォームを選択する予定です。

ファントークン「WEI」は、WEIプロジェクトに参加するクリエイター・二次創作者・ファンなど、コミュニティ内のイベントや活動・サービスで参加者がインセンティブとして獲得できるようになります。WEIトークンは今後開催されるイベントで利用したり、販売するNFTアセットの購入、一定数以上保有していることで特別な体験が提供されるなど、ファンコミュニティを活性化させるための役割を担います。

WEIトークン配布割合



[WEIトークン配分]

- CMITCOINホルダーへのエアドロップ・・・ 32%
- コミュニティユーザーインセンティブ・・・ 27%
- 発行元リザーブ 55%

-
- トークン名：WEICOIN
 - シンボル：WEI
 - WEICOIN総発行枚数：100,000,000
 - トークン規格：未定
-

■WEIトークンの発行と分散計画

WEIトークンは100,000,000枚が発行される予定です。発行後すぐユーザーコミュニティにトークンを分散するため、エアドロップやDiFi、海外の取引所で取引され、すでに分散化された現存するCMITCOINの既存ホルダーに対して保有するCMITCOINの割合に応じてWEIトークンをエアドロップ配布を行います。エアドロップ条件を満たさず配布されなかったエアドロップ分（33%）の残りのWEIトークンはバーンされます。その他、全体の27%がWEIプロジェクト参加者へのインセンティブとして使用され、残りの50%は発行元リザーブとして新規ユーザーの獲得や市場拡大のために利用されます。



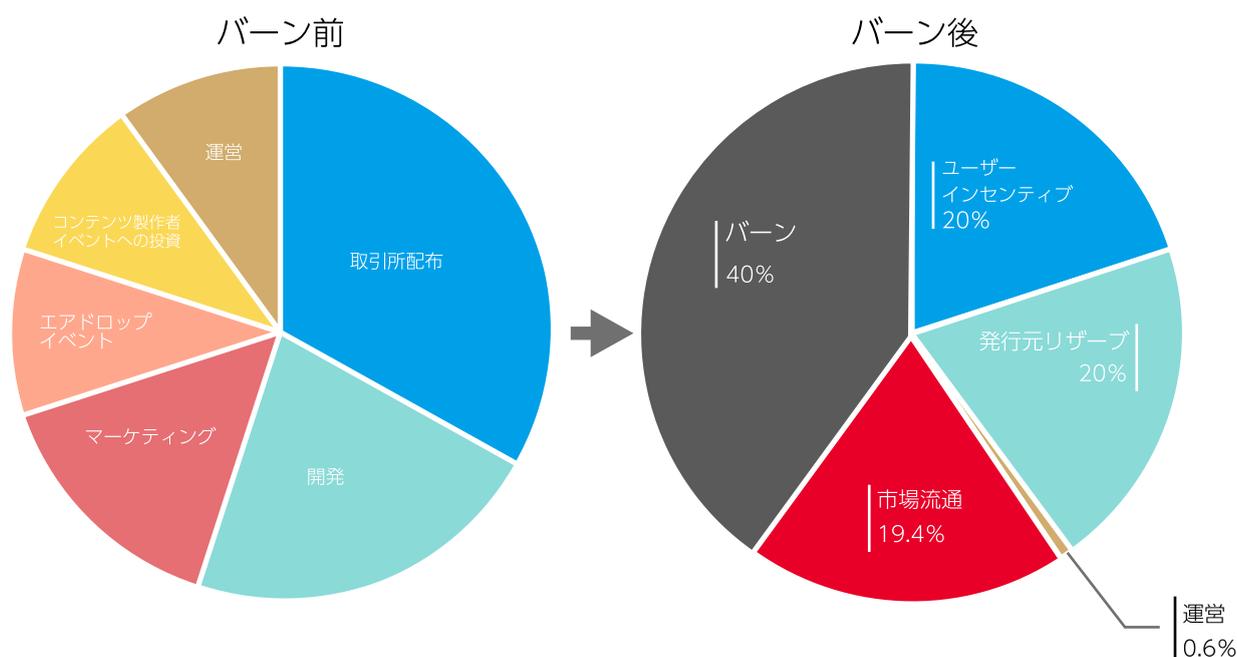
「CMITCOIN」の役割とバーンについて

About the role and burn of CMITCOIN

CMITCOINは、『ウェェイ学園』を始めとするWEIプロジェクトを加速させるための中間的な存在のトークンとして様々な用途に利用されます。すでに分散化され、海外の取引所において取引が可能であるという特性を活かし、今後展開されるイベントや様々なサービスで、ファントークンの配布などの目的で使用されるほか、コミュニティーユーザーへのインセンティブとして活用されるなど、日本発祥のクリエイティブ分野におけるコミュニティー拡大に貢献することがメインの目的となっていきます。

また、それぞれのファンコミュニティー間で使用するWEIトークン等のファントークンに交換できるオプショントークンとなるので、全てのサービス間でユーザーがファンコミュニティーに参加するきっかけとなる存在になっていきます。

CMITCOINのバーン詳細



■CMITCOINのバーン

CMITCOINは資金調達を主な目的とせず、今後展開するサービスや、コミュニティー内の活動によってユーザーが獲得できるインセンティブとして活用することで、サービスの利用者を拡大するしかけの一つとして機能させることを目指します。そのため、取引所配布や開発を目的として運営が保有していたCMITCOINの40%をバーンにより消滅させることで市場流通量や、サービス内のインセンティブとして利用する割合を大幅に向上させ、運営側の中央集権構造を緩和し、分散化を促進、これから広がっていくエコノミーを活性化させる狙いがあります。



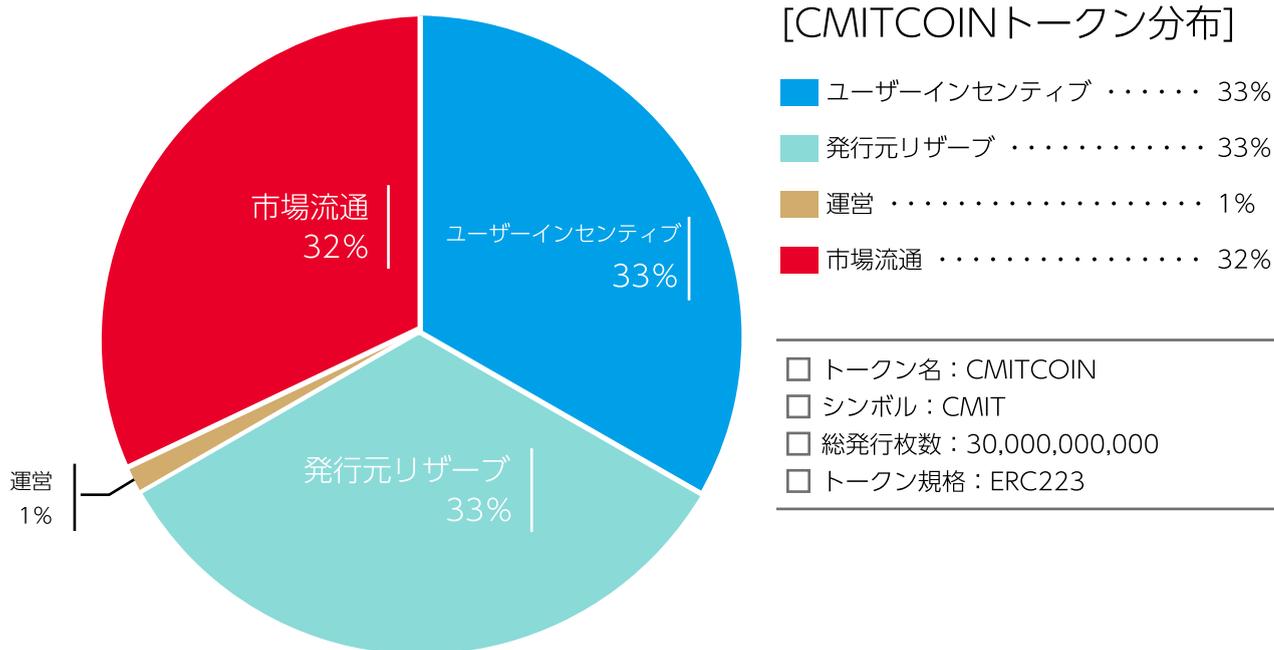
「CMITCOIN」 トークン概要

Overview of CMITCOIN token

CMITCOINはERC223規格に準拠したEthereum トークンです。ERC223規格では、送金可能なアドレスが確認され問題がない場合、送金処理を実行します。そのため、誤ったコントラクトアドレスに送金してしまった場合、エラーとして元のアドレスに返却される仕組みとなっています。また、送金手数料がERC-20規格より大幅に少ないというところも利点の一つです。

CMITCOINは発行後にエアドロップやユーザーへのインセンティブとして既に分散されたトークンであり、海外の取引所でグローバルに取引されている実績もあります。また、総発行枚数の2/5にあたる20,000,000,000枚のバーンを実行すると、バーン後は総発行枚数の1/3が市場流通していることとなります。市場に流通していない運営側が保有するCMITCOINについては、WEIプロジェクト内のサービスでユーザーインセンティブやコミュニティ拡大のために活用される予定です。

CMITCOINトークン分布割合



バーン後以下の枚数をロックアップします。

発行元リザーブの66%

合計：6,666,666,666

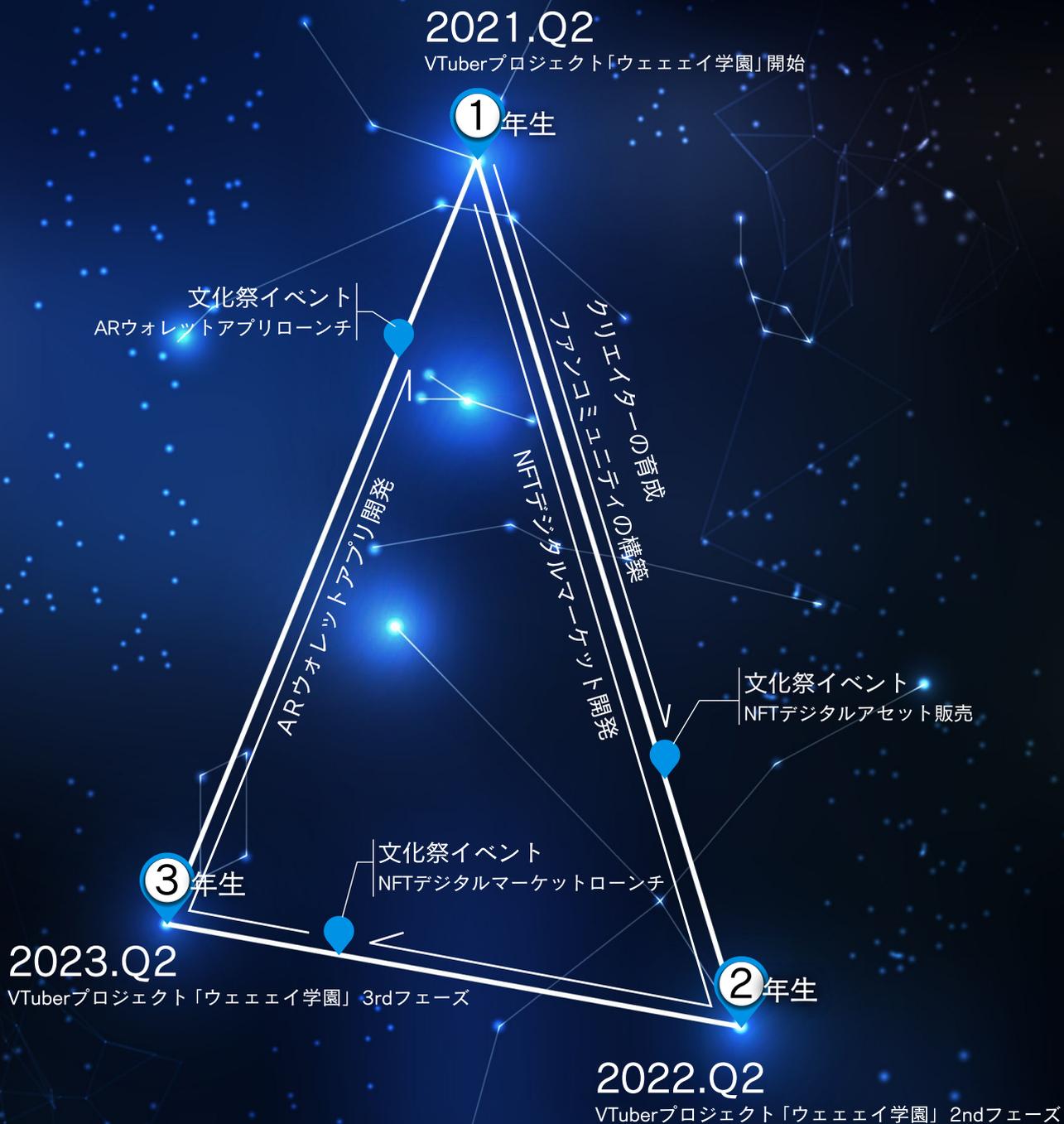
ロックアップ期間	[3,333,333,333CMTI]を2021年6月1日00:00(JST)から2022年5月31日23:59(JST)までロックアップ。 [3,333,333,333CMTI]を2021年6月1日00:00(JST)から2023年5月31日23:59(JST)までロックアップ。
----------	--

EXCHANGES	 
-----------	--



ロードマップ

Roadmap





運営会社について

About the Management Company



株式会社RIoT Productsはアプリケーションやサービスを通じて人とモノをインターネットでつなげ、クリエイティブ分野において人々に新たな価値を提供していくというビジョンのもとに設立されました。

当社は【CG制作事業】、【VP制作事業】、【YouTubeチャンネル運営】、【VTuber事務所運営】、【アプリケーション、WEBサービス開発事業】を中心に事業活動を行っております。また、日本発祥のクリエイティブ分野において、新しい経済圏を構築するべくWEIプロジェクトを立ち上げ、クリエイターを育成を経てファンコミュニティ拡大し、エンターテインメント分野で直接的（ピア・トゥ・ピア）な価値のやり取りができる世界を目指します。

社名	株式会社RIoT Products RIoT Products, Inc.
本社所在地	〒154-0004 東京都世田谷区太子堂一丁目アークビル1F
	Tel : 03-6883-7440 (代表) Fax : 03-6332-8850
代表者	代表取締役 谷口 正義
設立	2018年7月27日
事業内容	CG制作事業 VP制作事業 YouTubeチャンネル運営 VTuber事務所運営 撮影スタジオ運営 アプリケーション、WEBサービス開発事業
会社HP	https://www.riotproducts.co.jp/



免責事項

Contents × Technology

Community participation business model for a new era

この文書は情報提供のみを目的としたものであり、CMITCOIN プラットフォームまたはその他の関連会社や提携会社において収益の保証、或いは投資勧誘を行うものではありません。

●収入または利益に関する保証の不在

この文書で使用されている収入および利益の計算の例は、説明目的のみまたは業界平均を示すために記載しており、当団体の通貨またはコンテンツを使用して得られる結果について、いかなる保証も約束しません。

●CMITCOIN トークン（以下、本トークン）は投資ではありません

本トークンは、いかなる種類の公的または法的拘束力のある投資ではありません。本トークンの購入に関与するすべての人物、団体および当事者は、各国の法令に従い自己責任でそれを行います。これらに関するいかなる場合でも、法定通貨による返還や返金の保障は行いません。

●予期せぬ事態による開発の停止、中断に関するリスク

予期せぬ事態のために、事前の告知の有無に関わらず本文書に記載された内容や目的を加筆修正することがあります。また、本トークンやアプリ開発に関する予期せぬ不具合、不測の事態により、本文書に記載された内容の一部あるいは全部を停止または中断することができるものとします。停止または中断により発生する、人物、団体および当事者の直接的、間接的な一切の損害について運営チームは一切の責任を負わないものとします。

●量子コンピューター

量子コンピューター等の技術革新によって、本トークンを含む暗号資産が危険にさらされる可能性があります。

●新テクノロジー使用のリスク

本トークンはかなり新しく、比較的に実証の進んでいないテクノロジーです。この文書で言及されているリスクに加えて、運営チームが予測できない追加リスクがあります。これらのリスクは、この文書で記述したリスクとは異なる形で表出する可能性があります。

●本ホワイトペーパーは日本語を正文とする

他言語による翻訳文が作成された場合でも、日本語の正文のみが契約としての効力を有するものとし、多言語による翻訳文にはいかなる効力も有しないものとする。